

ファザー・オブ・  
ザ・イヤー in みえ

大賞

津市

いとう いっせい

伊藤 一生さん

推薦者 伊藤 恵さん (妻)

育児対象 お子さん (4歳)



**推薦文:** 男兄弟の中で育ち、バリバリの体育会系のうちの主人。娘が生まれ、女の子の育て方に戸惑いもあったようです。…が！！気付いたら立派なイクメンに。

始まりは離乳食。娘が初めて口にした食べ物はパパが作った10倍粥。一生懸命食べてくれる娘の姿に感動し、休日になると育児書とにらめっこしながら離乳食を大量につくってくれてフリージングしてくれました。初めての育児で手いっぱい私は本当に助かりました。

娘の成長につれてそれも変化し、今では親子でキャラ弁を作って公園へ行ったり、一緒にパースデーケーキを作ってお祝したり。娘の友達遊びに来ると、プチお料理教室をする事も。気付けばお料理上手のクッキングパパのようになりました。負けず嫌いの凝り症なので、上達も早く、今や私の出番なしです。

「安全でおいしいものを娘に食べさせたい」「何でも買うのではなく物を作る楽しさを伝えたい」「色々な事を娘と一緒に経験したい」というパパの思いからだと思います。

お料理中、パパは娘のやりたがることを決して危ないからと止めたり、汚したと怒ったりせず優しく見守ります。失敗しても勉強になる。やりたい気持ちを伸ばしたいと。

常に子どもの気持ちを考え、「自分がされて嫌なことや嫌な言い方は絶対子どもにしない」「子どもとした約束は、どんな時も守る」という彼のモットーがお料理中にも感じられました。

おかげ様で、娘はお料理だけでなく、色々なことに挑戦する楽しさや、失敗を怖がらず何度もやってみることを自然に身に付けたような気がします。

また、二人でメニューを決める→買い物に行く→一緒に作る→食べるということを通して親子の絆がグッと深まっているようです。

何より、娘は私が焼きもちをやく程パパのことが大好きで信

頼しています。

平日の夜でも、10分もあれば簡単なおやつができるので、娘のコミュニケーションタイム + 自分の好きなスイーツが食べられると一石二鳥なようです。

その他、娘を連れて児童館に行ったり図書館のお話会に出かけたり。娘が喜ぶのはもちろんのこと、パパも世界が広がり、地域の行事などにも積極的に参加するようになりました。ママ友もできるくらい！私はその間、家でゆっくりできる上に、パパが育児通になって帰ってくるのでとっても嬉しいです。

小さい頃は、なるべく自然と関わって育ててほしいと、お休みの日は石水溪や海、近所の本城山など三重の自然豊かな環境を楽しんでいます。

夜寝る前の、「パパのボディで遊園地」と読み聞かせが日課であり、娘の楽しみです。

娘が幼稚園に行きたがらなくなったある日、可愛いリボンを手作りし、「勇気の出る魔法のリボンだよ」と言ってプレゼント。娘は毎日のように「パパの魔法のリボンしていく〜」と言っています。幼稚園の先生からも好評。

娘の「なんで？」に対して常に丁寧に答え、分からないことはきちんと調べて説明しています。時には二人で想像している姿も。

その他、休日の男の料理、育児全般何でもお任せのスーパーパパです。

何より「趣味 = 子育て」というくらい、娘大好き、育児は天職！なパパです。

正直、出産するまでここまで子煩悩で愛情豊かな人とは思いませんでしたが、娘が生まれてから感謝しっぱなしです。

娘4歳。彼もまだパパ4歳。これからの娘の成長とともにパパの成長も楽しみでしょうがない今日この頃です。

審査員共感  
ポイント

○初めて口にした離乳食がパパのお手製なんてステキです。

○娘と料理を作っているときに、娘のやりたがることを危ないからと決して止めたりしないところが、母親にはなかなかできないかも。

○幼稚園に行きたくないとぐずる娘に「勇気の出る魔法のリボンだよ」とプレゼントしたエピソードがとてもステキ。

○娘の「なんで？」に対して丁寧に答えてくれるのが、母親にはなかなかできないことなので良い。